

7 がんセンター



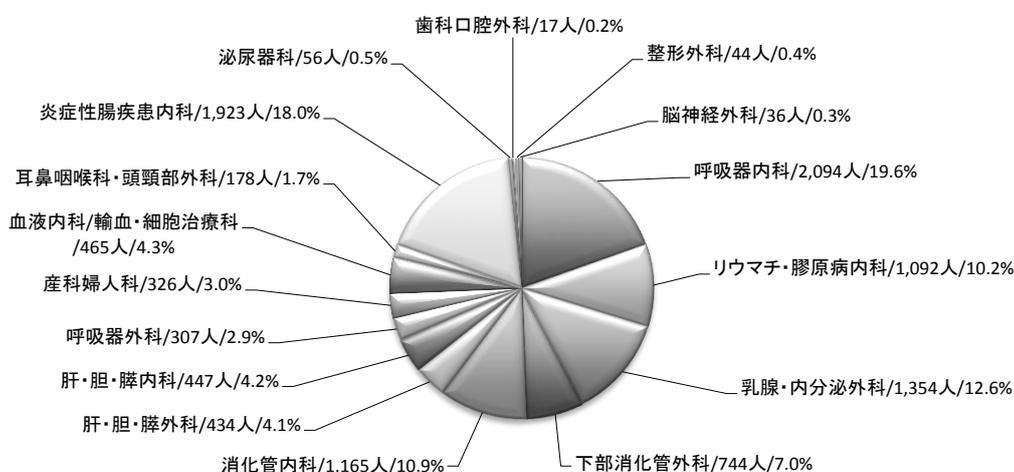
がんセンターの主な役割は、地域がん診療連携拠点病院の要件充足に向けた活動と外来化学療法室の効率的な運営である。26年度は診療報酬の改定に伴い、これまで外来化学療法加算が算定可能であったホルモン療法などの皮下注射・筋肉注射が算定できなくなった影響で、外来化学療法室年間利用者延数は6,278名と一時減少したが、27年度からはレミケードなどの生物学的製剤投与の患者さんを積極的に受け入れ、さらに27年度から整形外科、28年度から神経内科の利用者が加わり、外来化学療法室利用者数は28年度の8,894件、29年度10,732件と増加した。診療科別では、呼吸器内科、炎症性腸疾患内科、乳腺・内分泌外科、消化管内科、リウマチ・膠原病内科、下部消化管外科の比率が多い傾向にあったが、今年度は多くの診療科において前年度に比べて利用者数の増加がみられた。また外来化学療法室の効率的運用のために、28年度からは外来化学療法利用者・レジメン審査合同会議を毎月1回開催し、レジメン審査委員会にてエビデンスに基づいた迅速かつ適切な審査を行っている。院内のがん診療に対する啓蒙活動として、医師やメディカルスタッフを対象に年間を通してがんセンター主催の講演会や勉強会を開催している。がん相談支援センター・がん診療支援室では、がん患者さんやそのご家族からの医療や生活に関するご相談に対して専門の看護師やソーシャルワーカーが、29年度は対面相談1,254件、電話相談639件にて適切に対応し、がん診療のサポートを行っている。

7-1 年度別外来化学療法室利用者数

(人)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
血液内科/輸血・細胞治療科	217	156	267	333	465	4.3
リウマチ・膠原病内科	939	971	1,111	1,157	1,092	10.2
肝・胆・膵内科	344	339	235	268	447	4.2
呼吸器内科	1,220	1,393	1,339	1,796	2,094	19.5
消化管内科	693	619	946	942	1,165	10.9
炎症性腸疾患内科	-	88	974	1,422	1,923	17.9
神経内科	-	-	-	23	27	0.3
肝・胆・膵外科	557	522	569	341	434	4.0
上部消化管外科	22	9			2	0.02
下部消化管外科	815	754	720	674	744	6.9
乳腺・内分泌外科	1,744	812	969	1,050	1,354	12.6
呼吸器外科	210	271	193	303	307	2.9
整形外科	-	-	44	46	44	0.4
脳神経外科	12		40	81	36	0.3
皮膚科	14				21	0.2
泌尿器科	808	15	21	55	56	0.5
産科婦人科	146	179	156	204	326	3.0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	29	138	165	149	178	1.7
歯科口腔外科	3	12	51	50	17	0.2
合 計	7,773	6,278	7,800	8,894	10,732	100.0

7-2 29年度診療科別外来化学療法室利用者の構成比率(人)(合計10,732人)



7-3 年度別がん相談支援センターがん診療支援室の相談件数

(件)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
対 面 相 談	789	1,201	913	1,254	1,254	66.2
電 話 相 談	478	507	521	637	639	33.8
合 計	1,267	1,708	1,434	1,891	1,893	100.0